

登録コード	SD414200	開講年度	2026				
授業題目	地質調査法実習				担当教員	吉田 孝紀 他	
英文授業名	Practical Work in Field Geology				副担当	山田 桂・常盤 哲也・大塚 勉・山田 昌樹	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・2時限 金曜・3時限 金曜・4時限 金曜・5時限	対象学年	2年
講義室	理学部第2講義室		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考	必修
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ						
	【2023年度以降カリキュラム対象】理学の各分野における専門知識				専門知識を用いて、野外調査から得られたデータをまとめ、地質体の三次元構造や形成史を説明できるようになる．		
	【2023年度以降カリキュラム対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力				専門知識を用いて、野外調査から得られたデータをまとめ、地質体の三次元構造や形成史を説明できるようになる．		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	前半では松本市近傍の野外において、ルートマップ作成や地質図作成方法を学ぶ．後半では、室内において野外データのまとめや分析方法，地質図学，岩石・地層の三次元分布と地史との関わりについて理解する．						
(5)授業のキーワード	専門知識と応用力，フィールド学習，地域環境に関する理解，環境基礎力						
(6)授業計画	1-5.地質図の作成実習 6-7.断層や褶曲の観察と記載法，ステレオネット 8-11.地質図学実習，地質図判読実習 12-13.GISを使用した地形情報の可視化と解釈実習 14.ボーリングコアを使用した岩相と風化状況の把握(進行状況によって実施を判断する) 15.達成度を確認するための試験と説明，授業アンケート実施 天候や実習条件によって上記の計画は変更されることがある．野外・室内を問わず、複数のグループに分け、異なる実習課題を実施することがある。						
(7)成績評価の方法	実習時に課する達成目標についての達成度を毎回のレポートや提出物，達成度を測る試験によって評価し、その総点によって成績評価を行う．最後の時間に地質体の三次元的分布の把握力を問う達成度試験を行う．これらを総合した達成度がおおむね9割以上のものをS，8割以上9割未満のものをA，7割以上8割未満のものをB，6割以上7割未満のものをC，それ以下のものをDとする．						
(8)成績評価の基準	筆記試験の場合： 室内の実習で示した例題や課題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」，応用問題が解ければ「やや上にある」，やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」，例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」 レポートの場合： (i) 与えられた課題に対しての最低限のデータが取得されている、(ii)充実したデータが取得されている、(iii) 取得されたデータが誤解の無いよう整理されて記録されている、(iv) それらのデータの評価が適切になされ、第三者に対してわかりやすい形で表現されている、の4項目で評価する。(i) から(iv)の4項目を満たしていれば「卓越している」、3項目までできていれば「かなり上にある」、2項目までできていれば「やや上にある」、1項目までできていれば「水準にある」、とする。						
(9)事前事後学習の内容	毎回、実習時に実習の狙いと課題を明示する。その課題の解決に向けて、事後学習とレポート作成を行うこと。						
(10)履修上の注意	・地質調査法実習，地球史学，地層学を修得済みであることを前提とする．それ以外の場合は個別に相談に応じる． ・教科書を必ず購入のこと．また，学生教育研究災害傷害保険などの傷害保険に必ず加入し，「安全の手引き」を熟読しておくこと． ・野外実習時は，調査を安全かつ円滑に進めるために，ヘルメット・手袋・安全靴(トレッキングシューズ可)など安全装備を必ず着用すること．安全装備が不十分な場合は実習参加を許可しない． ・室内実習は積み上げ型の実習であり，欠席が多い場合は，その後の学習に支障を来すことになるので注意すること．実習レポートの提出期限は，実習日より1週間以内とする．実習地は基本的に大学から自転車等で30分以内で移動可能、あるいは公共交通機関が利用可能な地域を選定しているが、公共交通機関を利用する際には毎回数百円程度の交通費（バス代）が必要である。また、筑北村の実習地に赴く際には往復800円程度の交通費が必要である。 ・実習で習得した技術等の応用方法について，実習時間の一部を使用して，企業技術者を招いての講習時間を設けることがある．						
(11)質問,相談への対応	可能な時間にはいつでも応じる．一応，毎週月曜日12:00-15:00をオフィスアワーとする．						
【教科書】	次の書籍を教科書とするので購入して下さい。 天野一男・秋山雅彦 著「フィールドジオロジー入門」 共立出版 岡本 隆・堀利栄 「地質図学演習」古今書院						

【参考書】	三梨 昂・山内靖喜 「地質調査法」地学団体研究会 狩野謙一 「野外地質調査の基礎」古今書院 高安克己・大西郁夫 「地質図学」地学団体研究会 大杉 徴・坂 幸恭・高木秀雄 「改訂基礎地質図学」 前野書店
-------	---